



千バリヨーパト!



ロビンソン・パトリック
Patrick Robison
2008年8月から国際交流員として、浦添市役所国際交流課に配属される。米国アイダホ出身。

文・英訳：ロビンソン・パトリック

言葉の進化

ある言語で話すとき、その言葉が持つ決まった意味を期待して話します。言語の中で創造力を生かして話すところもありますが、学校では言語の文法・綴り・用法について、「正しい」か「正しくない」という形で学びます。調べてみると面白いことにその使い方も、時代とともに変わっていくものだと気づきます。例えば、標準語で話す私達現代人が200年前に書かれた和書を読もうとしたら、解釈がついていない限りかなり苦労すると思います。固定したものとして存在する言語は、同時に変化していくものとして存在します。とても不思議ですね。

言葉を変える要因は色々ありますが、外国の文化との接触による外来語の流入は大きな影響を与えていると思います。英語圏の人として、元の言葉と違う意味をもっている英語の単語が日本語になっている場合をよく聞きます。いつも面白くて、その新しい意味に驚くこともあります。例えば、日本語では「ワッフルアイロン」とは、ヘアアイロンの一種ですが、英語ではワッフルを焼くための調理道具の意味になります。こういう新語は曖昧だとか、すぐ流行らなくなるという意見も聞きますが、そのまま使われ続ける場合もよくあります。外来語は言葉一つずつというゆっくりしたペースで、日本語を変えていきます。

言葉の発音も進化していくものです。例えば、昔の和書を読んでみたら、否定形の「ぬ」が「ない」に変わったということに気づきます。この現象の要因はちょっと複雑なのですが、私の聞いている説によると、社会構成の変化やある方言の普及とともに、標準発音も変わっていくそうです。

単語や発音の他に、言葉の意味も変わっていきます。ある言葉が流行ったら、よく使われるようになり、新しい意味やニュアンスも生まれてきます。英語の単語である「villain-ビラン」という言葉がその例の一つです。もともと、「villain」は農民や田舎に住む人のことを指していましたが、いつの間にか「悪党」や「悪人」という意味で使われるようになりました。一体なぜこの意味になったのか、知りたいものですね。

以上の例で分かるように、様々な要因に影響される言語は絶え間なく変化しています。不要になった部分がなくなったり、言語が使われている環境によって新しい言葉が生まれてきたりして、この過程はある意味で生物学の進化論に似ているといえます。ということで、今後ある表現の正しい言い方・書き方について迷うことがあれば、百年間前の答えは違っていた可能性が高いと思いますよ!

This is a Wordy Rappinghood

When we speak a language, we take for granted that the sounds we make correspond with a certain, fixed meaning. Though there is room for lingual creativity, we are taught to distinguish between what is "right" and "wrong" in terms of grammar, spelling, and usage. The funny thing is, if we examine a language in its historical context, we see that it changes significantly over the course of time. For example, reading a book written in Japanese two hundred years ago would be no easy endeavor for someone who grew up speaking what is considered contemporary Japanese in 2010. How is it that languages can simultaneously appear so fixed and so fluid?

One of the biggest forces of lingual change is probably the influx of new words from other languages resulting from contact with foreign cultures. As an English speaker, I am constantly surprised and amused by the use of English words in Japanese which have a meaning completely different from the original English. A fun example is the word "waffle iron", which carries connotations of a tasty breakfast in English, while being used to denote a sort of crimping iron in Japanese. I have heard people in Japan criticize the use of these kinds of words, saying they sound too vague or faddish, but for better or for worse, the expressions which stick are changing the Japanese language one word at a time.

Pronunciation is another aspect of language which evolves. For example, looking over old Japanese texts, we see that the negative 「ぬ-nu」 has been replaced by 「ない-nai」 over the last couple of centuries. The causes of this phenomenon are a little harder to understand, but theories I have read suggest that events like changes in social structure or certain dialects becoming more prevalent than others often lead to changes in standard pronunciation.

Languages also change semantically over time. As words come into fashion, they are used heavily and take on new meanings and nuances. An interesting example is the English word "villain." Its original meaning was "farmer" or "peasant" but somehow it has come to mean "bad person" or "evildoer" in contemporary English! One can't help but wonder how this change came about.

Thus we see how a language is constantly changing due to the influence of a number of different factors. In some ways this process resembles the theory of biological evolution, with characteristics appearing and disappearing based on need and the surrounding environment. Whatever the case, next time you find yourself wondering about the correct way to write or say something, chances are the answer you are searching for would have been different a hundred years ago!

■新生児訪問

*お母様方へ、出産後退院され戸惑いことも多いと思います。一人で悩まないでご連絡ください。
助産師や保健師が訪問して赤ちゃんの体重測定・おっぱいの状態・母子保健事業の紹介等を行っています。
対象者 新生児2か月未満の乳児と母親
料金 無料
*赤ちゃんが生まれたら、親子(母子)健康手帳の後ろ(こ)についているハガキ(ピンクか白)を早めにご送付ください。ハガキを送る際はあなたの個人情報を守るために個人情報保護シールをご利用ください。出生届け手続き時に一緒に提出される場合は切手は不要です。

■乳幼児健康診査のお知らせ

乳児健康診査
通知対象者 受付時間 実施日
生後3か月 午前9時～11時 7/4(日)
生後4か月 午後1時～3時 8/1(日)
※衣服の着脱があります。替えのオムツ、おくるみももってきてください。
※健診終了後9か月～10か月のお子様を対象にブックスタート事業として無料で絵本の贈呈を行っています。健診終了後ぜひご参加ください。

1歳6か月児健康診査
通知対象者 受付時間 実施日
1歳6か月 午後1時15分～2時15分 7/1(水)
2歳15分 7/8(水)
7/15(水)
7/22(水)

3歳児健康診査
通知対象者 受付時間 実施日
3歳6か月 午後1時15分～2時15分 7/14(水)
7/21(水)

※1歳6か月児、3歳児健診の整理券交付は正午から行います。実施場所は保健相談センターです。
※健康診査対象者は事前にご通知を行います。健診予定日のご都合が悪い場合は保健係までご連絡をお願いします。

■集団予防接種のお知らせ

BCG集団予防接種
日時 7/20(火)
午後2時～4時まで
※整理券交付は午後1時から
場所 浦添市保健相談センター

対象 生後3か月～6か月未満
※予防接種を受けるときは必ず市から届いた予防票と親子(母子)健康手帳をご持参ください。
※対象年齢を超えると全額自己負担(約7500円)になります。
※当日受けることができない方、事情があつて生後6か月未満まで浦添市保健相談センター予防係までご連絡ください。

MRはしか風しんワクチンの接種はお済みですか?
ワクチン接種対象者は、市から届いた予防票と親子(母子)健康手帳をご持参のうえ、指定医療機関(本島内の医師会会員施設)で予防接種を受けてください。
対象者
MR1期…生後12か月～24か月未満(1歳児)
MR2期…小学校就学前の1年間(平成16年4月2日生～平成17年4月1日生)
MR3期…中学校1年生相当年齢(平成9年4月2日生～平成10年4月1日生)
MR4期…高校3年生相当年齢(平成4年4月2日生～平成5年4月1日生)
※各期の年齢に該当する方は、MR予防接種を受けましょう。

平成22年度がん検診における受診券・クーポン券の訂正について
40歳以上の国保(分保等)の方は、がん受診券の検診名を「

〈健康シリーズ〉150

受診者少ない!がん検診!

がんは、昭和56年から国の死因の第1位で、死亡者は今後とも増加してゆくと推測されます。そこで国は、平成18年に「がん対策基本法」を定めました。国民のがんによる死亡率を20%減らすという目標を設定し、その実現のため「検診受診率50%」と決めました。さらに①がん研究の推進②がん予防の推進③がん医療の向上とそれを支える社会環境の整備という3本柱を掲げ、全国都道府県に「がん対策推進計画」を作ること義務付けました。

沖縄県では、平成20年に「がん対策推進計画」を制定し、目標達成に向け取り組んでいます。市民一人一人が受診しなければ、「絵に描いたもち」になります。去年の浦添市の各種がん検診の受診率は20%未満です。浦添市では、職場でがん検診が受けられない方も、集団検診で受診できます(婦人がんのみ個別検診あり)。詳細は電話等でお問い合わせください。

□問い合わせ 浦添市保健相談センター ☎875-2100

講演会のお知らせ

くお酒の問題と依存症について、かわり方方ツボ
日時 8/16(月) 午後2時～3時
場所 浦添市保健相談センター
講師 古川房子氏
(琉球病院アルコール専門病棟部長)
あなたや家族、友人のお酒の飲み方は大丈夫?お酒について考えてみませんか?浦添市保健相談センターでは、個別相談にも応じています。入場無料です。お気軽にご相談ください。
お問合せ:浦添市保健相談センター 予防係

Gallery Tedako

作品募集
(テーマは自由です)はがきで送ってください!
切りは毎月12日迄
〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所国際交流課
☎876-1234 (内線2613・2614)

まえた りこ(6才)
なかみね もりみち(9才)
名嘉 涼(9才)
比嘉 李菜(10才)